

|        |   |  |    |   |
|--------|---|--|----|---|
| 特定行為区分 | 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連   |  | 時間 | 8 |
| 特定行為名  | (A) 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入  |  |    |   |
| 学ぶべき事項 | (共通) 末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理の基礎知識   | 1. 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルに関する局所解剖<br>2. 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルを要する主要疾患の病態生理<br>3. 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルを要する主要疾患のフィジカルアセスメント<br>4. 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの目的<br>5. 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの適応と禁忌<br>6. 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルに伴うリスク（有害事象とその対策等） |    |   |
|        | (A) 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入  | 1. 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入の適応と禁忌<br>2. 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入に伴うリスク（有害事象とその対策等）<br>3. 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入方法と手技   |    |   |
| 研修概要   | (共通) 末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理の基礎知識   | 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの必要性やその特徴を理解し、安全に末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入を実践できる看護師を養成する。  |    |   |
|        | (A) 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入  | 医師の指示の下、手順書により、身体所見（末梢血管の状態に基づく末梢静脈点滴実施の困難さ、食事摂取量等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内であることを確認し、超音波において穿刺静脈を選択し、経皮的に肘静脈又は、上腕静脈を穿刺し、末梢留置型中心静脈注射用カテーテル（PICC）を挿入する。   |    |   |
| 到達目標   | 1. 医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内であることを確認し、末梢留置型中心静脈注射用カテーテルができるようになる。 |  |    |   |
|        | 2. 手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う。   |  |    |   |
|        | 3. 医師、歯科医師から手順書による指示を受け、実施の可否を判断するために必要な知識を養う。  |  |    |   |
|        | 4. 実施、報告の一連の流れが適切に行える。  |  |    |   |
| 評価方法   | 講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト   |  |    |   |
|        | OSCE：評価表を用いた観察評価  |  |    |   |
|        | 実習：各種実習の観察評価  |  |    |   |
|        | 試験：eラーニング上もしくは集合で実施   |  |    |   |
| 研修内訳   | 講義（8時間）   | 視聴時間45分＋講義確認テスト15分   |    |   |
|        | OSCE（1時間）   | OSCEはシラバスの時間に含めておりませんが、教材としてご利用ください  |    |   |
|        | 試験（任意）  | 試験は指定研修機関ごとに時間・設問数など設定してご利用ください  |    |   |

| 学ぶべき事項                        |   | 講師             | 所属   | 研修方法 | 通番 |
|-------------------------------|---|----------------|--|------|----|
| (共通) 末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理の基礎知識 | 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルに関する局所解剖<br>末梢留置型中心静脈注射用カテーテルを要する主要疾患の病態生理、<br>フィジカルアセスメント、目的（1） | 井上 善文          | 大阪大学国際医工情報センター栄養デバイス未来工学共同研究部門                                 | 講義   | 1  |
|                               | 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルを要する主要疾患の病態生理、<br>フィジカルアセスメント、目的（2）                              | 井上 善文          | 大阪大学国際医工情報センター栄養デバイス未来工学共同研究部門                                 | 講義   | 2  |
|                               | 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの適応と禁忌、伴うリスク（有害事象とその対策等）   | 井上 善文          | 大阪大学国際医工情報センター栄養デバイス未来工学共同研究部門                                 | 講義   | 3  |
| (A) 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入      | 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入の適応と禁忌  | 千葉 義郎<br>青柳 智和 | 水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長<br>水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師 | 講義   | 4  |
|                               | 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入に伴うリスク（有害事象とその対策等）  | 千葉 義郎<br>青柳 智和 | 水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長<br>水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師 | 講義   | 5  |
|                               | 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入方法と手技（1）  | 千葉 義郎<br>青柳 智和 | 水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長<br>水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師 | 講義   | 6  |
|                               | 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入方法と手技（2）  | 千葉 義郎<br>青柳 智和 | 水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長<br>水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師 | 講義   | 7  |
|                               | 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入方法と手技（3）  | 千葉 義郎<br>青柳 智和 | 水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長<br>水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師 | 講義   | 8  |

|                 |                      |                |  |      |   |
|-----------------|----------------------|----------------|--|------|---|
| 栄養（PICC）<br>(A) | 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入 | 千葉 義郎<br>青柳 智和 | 水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長<br>水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師 | OSCE | - |
|-----------------|----------------------|----------------|--|------|---|

|  |  |  |  |    |   |
|--|--|--|--|----|---|
| 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 科目修了試験 |  |  |  | 試験 | - |
|--|--|--|--|----|---|